



三条北ロータリークラブ週報



例会日 2010. 10. 19 累計 No.1149 当年 No.15



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:レイ・クレンギンスミス
地区ガバナー:東山昕也(上越RC)
三条北RC会長:小林繁男
三条北RC幹事:西村 護
三条北RCSAA:岡田大介

会長挨拶 : 小林繁男会長



最初にお伝えすることがあります。先週の例会で元気でした大野会員が例会後、犬の散歩中に脳梗塞を発症され入院されました。ビックリしましたが、経過は良好で元気で後1週間ほどで退院できるそうです。もう1人笹原会員も体調を崩され入院されています。こちらも心配するほどのことでは無いようなのでひと安心です。例会終了後、西村幹事とお見

舞いに行ってきますので、後日ご報告します。

最近朝晩涼しくなりましたが、夏の酷暑の疲れが出るのか最近体調を崩される方がいらっしゃるようです。皆さんも充分お気を付け下さい。

本日は、東RCの菅家会長、卓話よろしくお願ひします。

新発田城南RCから尾田さん、和泉さん、坂田さんの3名のお客様です。そして東RCの前会長中澤さんようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

遠方から折角お出で頂きましたので、新発田城南RCの方から一言お話しをお聞きしたいと思いますので私の挨拶はこのくらいにします。よろしくお願ひします。

新発田城南RC 尾田一雄様



皆さんこんにちは。先程小林会長さんが、私の話は短いから一言話してくださいと言われまして、戸惑ったのですが、折角の機会ですでお話しさせていただきます。一緒に来ました、和泉さん、坂田さんはそれぞれに2007年、2009年の入会です。私は2007年頃から入会の浅い方をよそのクラブを体験して貰おうと言うことでメイクアップキャラバンとして暇を見つけては訪問しております。

私が2006-2007年41代会長をやらせていただいた時に40周年式典をやらせていただきました。その時に中條パストガバナーには大変お世話になりました。三条北RCさんは私にとっては大変印象深いクラブです。今日メイクアップするならば三条北クラブにと思ひ来ました。ゆっくり楽しんでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

■出席状況

・本日の出席:70名中40名

・先々週の出席率:

70名中50名71.43%
(前年同期66.18%)

■本日の行事:卓話

「思うがままに」

■本日のゲスト:

三条東ロータリークラブ会長
菅家敏彦様

■本日のビジター:

新発田城南RCより
尾田一雄さん、和泉哲雄さん
坂田翔祐さん
三条東RCより 中澤 進さん

■先週のメイクアップ:(敬称略)

10月12日地区R財団委員会
中條耕二
13日三条RCへ 小林繁男
西村 護、金子太一郎
14日三条東RCへ
青柳康博、丸山達夫
石川勝行、山崎 勲
19日親睦活動委員会
渋谷義徳、石川一昭
石黒隆夫、本田芳久

■本日のメニュー:1027kcal

蟹身ときこのスープ	128
牛タンのサラダ	114
ポークカレー	647
マロンケーキ	138

幹事報告：西村 護幹事



- ・三条ローターアクトクラブより 10月第2例会のご案内
日時 10月21日(木) 19:30～ 会場 燕三条リサーチコア
- ・三条市特別支援教育研究協議会より
市内特別学級児童生徒「ウィンターフェスティバル」のご案内
日時 12月3日(金) 9:30～11:30
会場 三条市総合福祉センター
- ・松尾与十郎記念碑移設実行委員会より 協力に対する御礼
- ・(財)三条法人会より 文化講演会のご案内
日時 10月28日(木) 19:00～
会場 ハミングプラザVIPグランドホール
入場整理券が必要です。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。
- ・北RC会員名簿の訂正のお願い
西村 護会員 電話番号が間違っておりました。訂正してお詫び申し上げます
勤務先 32-4608 FAX 33-6319
自宅 34-1248 に訂正お願いします。

委員会報告：親睦活動



次週の夜例会は「秋の味覚例会～軽音楽の夕べ」と題して開催します。ロイヤルホテルさんをお願いして秋の味覚満載の献立を用意していただきます。ピアノとベースによる演奏も企画しました。簡単なゲームも行いますので100円コインを1枚ご用意下さい。多数の出席をお待ちしています。

■ロータリー財団BOX：19日現在累計109,000円

■米山奨学BOX：19日現在累計141,000円

■ニコニコBOX：19日現在累計349,000円

菅家敏彦君(三条東RC)大変緊張しております。よろしくお願いします。
尾田一雄君(新発田城南RC)中條パストガバナーにお会いできて大変嬉しく思います。その節は大変お世話になりました。

中澤 進君(三条東RC)よろしくお願いします。

小林 繁男君 三条東RC会長菅家敏彦様卓話よろしくお願い致します。

新発田城南RCの尾田様、和泉様、坂田様遠い所より、又三条東RCの中澤様ようこそお越し下さいましてありがとうございます。

西村 護君 //

中條 耕二君 三条東RCの菅家会長の卓話に感謝して。お世話になった新発田城南RC尾田元会長、坂田翔祐さん、和泉哲雄さんようこそおいで下さいました。創立40周年の盛会を時々思い出しております。

米山 忠俊君 三条東RC菅家会長さん、創立5周年おめでとうございます。本日は卓話ご苦労様です。新発田城南RCの尾田様、和泉様、坂田様ようこそいらっしゃいました。

星野 義男君 菅家敏彦会長、卓話ありがとうございます。感謝して!!

湊岡 茂君 菅家さん卓話ありがとうございます。

青木 省一君 BOXに協力

丸山 達夫君 ノーコメント

今井 克義君 何か楽しいこと、嬉しいこと、記念に残るような事がありましたらぜひBOXへ
坂内 康男君 本日の卓話、菅家敏彦さんのお話し楽しみです。

ニコニコBOX協力よろしくお願いします。



本日の行事：「思うがままに」 三条東ロータリークラブ会長 菅家敏彦様



皆さん、こんにちは。

ご紹介を頂きました、東クラブの菅家と申します。宜しく、お願いいたします。

先ずもって、先般、8月26日、VIPで行われました当東クラブ創立5周年記念例会に、中條パストガバナーから、鄭重なるご祝辞を賜り、又、米山特別代表はじめ、多くの皆様のご出席を賜り、本当に有難う御座いました。

お陰さまで、無事、会を収めることが出来ました。

高い席から、誠に恐縮ではありますが、改めて、心からのお礼を申し上げさせていただきます。有難う御座いました。

又、本日は、卓話にお招きを頂きまして有難う御座いました。

小林会長様からの、お頼みとあらば、お断りも出来ず、お引き受けを致しました。とはいえ、慣れないことゆえ、大変、緊張しております。

本日は、「思うがままに」ということで、簡単に申せば、自由勝手にお話をさせていただきますということです。ご容赦を賜りたく思います。どうぞ、宜しくお願いいたします。

本日は、初めてお目にかかる方もいらっしゃると思います。挨拶代わりに自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和11年8月27日鼠年生まれの、74歳です。

出生地は、福島県三春町、梅、桜、桃の三つの花が一度期に咲くことから名付けられた町です。滝桜でも有名なところですよ。

間もなく、父の仕事の関係で、福島市に移り、幼稚園まではそこで過ごしました。小、中、高は、提灯祭り、今では菊人形のほうが知られておりましたよ、福島県中通り地方の二本松市で過ごしました。その後、大学からは東京です。

7年前、縁あって、長岡に参りまして、現在は、下柳というところに住んでおります。

こちらからは、下道、国道8号線を長岡方面に進み、信濃川に架かる蔵王橋を渡って、左折、造形大の近くです。栄町の会社までは車で約30分の距離、勿論、毎日、元気に通っております。

家族は、昭和38年に結婚した妻には9年前の、平成13年3月に先立たれました。享年63歳、誕生日の翌朝でした。

死因は、肺塞栓、血の塊が肺を塞いでしまった、今でいうエコノミー症候群です。事実、死生観が変わりました。

現在は、妻と二人、それに、4歳になるトイプードル、ロペとの生活です。

子供たちは、娘が一人、息子が二人、そして孫が、男の子が一人、女の子が二人の三人です。

長女は商社を経て同じ商社マンと結婚、今年は4回目かになる海外赴任で、現在、メキシコ在住。

長男は、航空会社勤務、次男は、教師で共に東京に住んでおります。

家族といえば、我が家では、決まって、毎年お正月の3日、家族全員が集まります。お墓参りを済ませ集まるのです。

両親は、お隣、会津只見の出身であります。

父は、田舎の、所謂、特定郵便局を継ぐ立場にあったのですが、一念発起、福島の産業学校に入り、養蚕の勉強をし、各地の郡役所、養蚕学校等を回り、養蚕の指導に当たっていたようです。当時の話として、六十里越えか八十里越えか峠を越えて、ご当地、新潟にも出かけていたとの話も聞いております。

戦後、日本製糸協会を経て、独立、南会津をエリアとして、南会製糸という、所謂、製糸工場を起ち上げましたが、そのことで、当時、お世話になった方の名前、「商工会議所会頭の小松謙一さん」という方ですが、何故か、思い出されたのです。

今回、卓話のご依頼があったのを機に、改めて父のことなど調べてみて、福島商工会議所への問い合わせ、インターネット等から、小松さんという方の記憶に間違いのないことを知りました。

その過程で、ロータリーに関して、また私の生い立ちに関して、大変な偶然に出会ったので、ご紹介をしたいと思います。

一つ目は、小松さんという方は、60年近い歴史を持つ、福島ロータリークラブのチャーターメンバーであったこと。

二つ目は、そのクラブの認証伝達式がノートルダム修道院（現在の桜の聖母学院）で行われた

ということです。

後にも、出てきますがノートルダム修道院は、昭和16年、私の通った幼稚園であったのです。

母は、民生委員等を引き受けるなど、よく、困った人たちの面倒を見る、よその人にも優しい人でした。夏休み等、会津に帰りますと、身寄りのないというか身を隠すというか、復員軍人さんが、家に長逗留をしているなど、不思議な光景でした。

幼稚園は、先ほど申し上げた、信夫山の麓にあるノートルダム修道院、現在の桜の聖母幼稚園です。

ロータリーに関わるようになって知ることとなった、小松さんという方が会員であった福島ロータリークラブの認証伝達式が、そのノートルダム修道院で行われていたことの偶然さに、何か因縁めいたものを覚えました。

小、中、高は、これも先ほど申し上げたとおり、二本松というところで過ごしました。

国民学校3年生で、終戦を迎えましたが、その時の天皇の玉音放送は、子供心にも忘れられない記憶として残っております。

中学では、昭和25年6月25日の朝鮮事変勃発といった激動の中で育ちました。

そして、高校では、千恵子の生まれた故郷とか語りながら、多感な青春時代を送りました。

昭和31年、大学入学のため上京しましたが、1年間の休学の後、復学しました。実は、私は、若い頃、血の気が多かったせいか、何故か、鼻血が止まらないといった変わった病気で、高校は4年、大学は5年かかってしまったのです。その時の養生が、今の健康にも繋がっているのかも知れません。復学後は、学生寮である昭和寮というところに入り、全国から集まった寮生たちと、楽しい寮生活を過ごしました。

体の為にも、何か、運動すべきと、馬術部に入りましたが、レベルは高く、やはり、歴史のある伝統校だとの印象は強く、勿論、選手などは望むべくもありませんでした。

部室に入って、先ず、驚いたことは、東京都大会、全日本、国体等といった大会スケジュールが黒板一杯に、書き込まれていたことです。

田舎から出て来たものにとっては、先ず、「予選を勝ち抜いてからの話だろう」と思いましたが、それぞれの大会出場は、当たり前のことだったのです。

大学2年のとき、父が亡くなりましたので、それからは、自分で働かねばと、部活動とは一時、疎遠となりましたが、友達にも恵まれ現在もOB会などには、割りと熱心に参加しております。

昭和36年3月、学習院大学政経学部経済学科を卒業しました。

昨年10月、創部130周年の式典が、天皇、皇后両陛下ご臨席のもと、行われました。

たまたま、直接、お話をさせて頂く機会がありましたので、新潟国体開会式直後でもありましたので、自分は今、新潟に住んでいること、開会式のため、態々、新潟までお出ましになられたことにお礼を申し上げます。

昭和36年、大学卒業後、大商証券（後の新日本証券、現在のみずほ証券）に入社。新宿、銀座支店で、株式、投資信託の売買等、営業畑を経て、合併後、本店投資調査室に勤務。

昭和44年、新日本証券を退社、総鉄商事に入社。三菱製鋼へのスクラップの納入、また、三菱製鋼の電気炉から発生する鉱さい（ノロ）の処理に携わる。

これが、鉄スクラップ及び廃棄物の処理に関わりを持つ切っ掛けとなりました。

以後、鉄スクラップの扱いと廃自動車処理後の、所謂、カーシュレッダーダストの処理に当たる。

又、この間、産業廃棄物中間処理（破碎）施設（千葉県）、及び、最終処分（埋立）場（仙台市）の建設に参画一貫して、鉄スクラップとリサイクル事業に関わって参りました。

平成15年、長岡の豊和商事に入社。上記事業に加え、家電の処理事業に関わり、平成20年5月、退社。

平成20年、株式会社メタル三條を起ち上げ、現在に至ります。

趣味は、ご案内のとおり、下手なゴルフと、旅行、読書、ワイン、車、カメラ等、多種多様ですが、最近は、ゴルフとワインです。

ゴルフについては、5年以上、休んでいましたが、3年前に再開しました。

長岡のクラブに入り、最初に頂いたハンデキャップは、屈辱の39でありました、空白は大きかったです。現在は、32です。

9月の敬老杯で優勝、当面、30を切ることを目標に、頑張ろうと思いましたが、此処でドクターストップ、実は、9月30日に、脇の下に出来たこぶの切開手術で10日間の入院、ゴルフのできる状態ではなかったのです。

その為、楽しみにしていた先般の貴クラブとのコンペには、残念ながら参加できませんでした。申し訳ありませんでした。

しっかり養生して、春、雪解けを待って、再開しようと思っておりますので、宜しく願い致します。

海外旅行については、娘の海外駐在先を宿としてその周辺国を周ることを楽しみにしております。今までに20ヶ国以上になります。一番は、スイスでした。

アルプス山脈に聳え立つ4,000m級のマターホルン、ユングフラウ、ともに、登山鉄道で近くまで行きましたが、世界で最も高い位置（海拔3,454m）にあるユングフラウ・ヨッホ駅が、1912年には完成していたと聞き、驚きました。

当時、山頂までといった壮大な計画もあったそうですが、資金の問題と、観光客の高山病への心配から、断念したとのことでした。

又、東のサンモリッツから西のツエルマツトを結ぶ氷河特急の旅も、実に、楽しいものでした。最高でした。

ワインのほうは、「取って置き」といった高級ワインではなくて、「デイリー」、即ち、毎日飲む、安いものです。

飲む量は二日に一本というペースですから、酒屋に行ったり、ワイナリーを回った場合でも、精々、一本1,000円から1,500円位で美味しいものといったものを探すのが、趣味というか、楽しみです。

最近、本屋の店頭で、「越後えびかずら維新」というワインに関わる本を見つけました。「えびかずら」とは、葡萄の日本古名とのことでした。

100年前、ひとり、雪深い寒村で私財をなげうち、ワイン葡萄の植栽と改良に生涯を掛け、新潟で初めてワイナリーを始めた川上善兵衛という人の苦難の物語です。

品質の良いワインは、よい葡萄からと、沢山の品種から、交配を行った数は、記録から何と一万株を越したといわれます。

日本の風土に根付く葡萄を栽培し続けた努力が悲壮なまでに語られています。

かなりの部分を、実在したであろう森脇トヨさんという「高田のごぜさん」の回想を通して語られているのには、ある種の驚きを感じませんでした。

皆様には、ご承知の「岩の原葡萄園」開発の歴史です。

幾多の苦労の後作り上げたマスカットベリーAという品種を使ったワインが、2009年の国産ワインコンクールで、金賞を受賞したくだけには、大変、感動しました。

ソムリエの田崎真也さんは、この本を読まずして、日本のワインを語れないこと、もし、仮に一世紀前に戻れるのであれば、真っ先に、善兵衛翁の手を握り締め、「有難う御座います」とお礼を言いたいと語っておられます。

「岩の原ワイン」は、今までも飲んではおりましたが、これからは、川上善兵衛さんの業績に思いを馳せながら味わっていかうと思いました。

また、近いうちに、一度、「岩の原葡萄園」を訪ねてみようとも思いました。

信条としては、「生涯、現役であること。」そして、「Only One」で、有り続けること。」です。

昭和44年（西暦1969年）、公害国会（*）といわれた45年秋の1年前、廃棄物処理に関わりを持って以来、41年間、一貫して生業としてきたことについて、その要した日かず、経験等から、誰にも真似の出来ない「Only One」で有り続けたいと願っています。

属する業界にあって、更に、専門の知識を磨くなど、研鑽を重ねることは、ロータリアンとしての職業奉仕の精神、生き方に叶うものと信じ、その知識を活かし、今後とも社会に奉仕していきたいと思えます。

次世代に、環境の負荷を残さない。そのために、何が出来るかを、考えていきたいと思えます。

（*）公害国会の背景

昭和30年代から40年にかけて、高度経済成長を達したわが国は、一方で、これらの歪みとして、水質汚濁、大気汚染等の公害問題が深刻化し、水銀中毒、イタイイタイ病等、人体被害が発生した。

近隣では、本県で、40年、昭和電工の工場排水に含まれたメチル水銀による阿賀野川流域、水銀汚染、所謂、新潟水俣病、更に、43年、富山県でのカドニウム汚染によるイタイイタイ病等が挙げられる。

こうしたことで、制定以前の「廃掃法」では、出来なくなったため、42年の「公害対策基本

法」、43年の「大気汚染防止法」、「騒音規制法」が制定されるなど、「廃棄物処理法」等14の法律が制定され、45年秋の臨時国会は、所謂、公害国会と呼ばれるようになった。

現在の仕事について（会社紹介）

当社は、主として、市中より、鉄及び非鉄スクラップの回収をし、加工をし、直接、地元電炉向けに納入するなどの業を行っております。

お陰様で、仕事を始めて、2年近くになります、というか、2年しか経っていない若い会社であります。

実際に商売を始めた平成20年12月1日、スクラップ市況は、どん底、正に、その日その月からの出発となりました。

標準的な鋼種で、同年7月末にトン当たり7万円したスクラップ価格は、8月には3万円以上の急落、9月小康状態、一瞬戻すかと思われた市況は、米国リーマンショック、世界同時不況の影響をもろに受け、10月、再び3万円の急落、殆ど値を消して仕舞いました。

ドライ粉（切り粉）に関しては、一時、逆有償となり、逆にお客様からお金を頂くといった、実際には、産業廃棄物並みということになったことは、皆様の記憶に新しいところであります。分かり易く申し上げれば、標準的な鋼種で、例えば、月1,000トンを取るとすれば、トン当たり7万円で、7,000万円のお金が必要になった訳ですが、それが2,500円まで落ちたということは、同じく、月、1,000トン扱った場合でも、250万円あれば、同じ量の仕事が出来るといったことなのです。

事実、使用資金が少なくすむというメリットは、ありますが、それだけ市場規模が縮小し、業界が冷え切って仕舞う訳でありますから、喜んでばかりはいられません。

わが社の、どん底での出発は、幸い、不良資産（在庫）0という状態での出発ということでもありました。

皆様の暖かいご支援、ご協力のお陰で、今日まで、何とか、業を続けさせて頂いております。

幸い、昨年5月には、地元三星金属工業様への「直納問屋」として、お認めを頂きました。

鉄スクラップの流通に携わるものとして、「直納問屋」という冠は、大変、嬉しいことであります。

少数精鋭、信頼とフットワークを社是とし、これからも頑張っていきたいと思っております。

「大河は、小河を拒まず」そして大きくなる、ということを肝に銘じ、例え100kgのお客様でも、誠心誠意、フットワークを効かせ、対応、頑張っております。

当社の紹介は配布させていただきましたパンフレットをご参照いただければ幸いです。予算の無いなか社員が手作りした簡単な物です。

環境問題について、私は、東クラブでの卓話をお引き受けした際、廃棄物といった仕事に関わってきたことから、地球温暖化については、関心を持ち、「COP何がし」の動きについてお話をさせて頂きました。

昨今、テレビ、新聞等において、COP10なる言葉が、しきりに出て参ります。

おや、COPは今年で16回目を迎えるはずと思い、調べました。

COP10とかCOP16とか、同じような表現に、多少紛らわしい部分もあったからです。不勉強でした。

分かったことは、COPとは、国際条約の締約国が集まって、いろんな条約について話し合う会議のことなのです。

簡単に言えば、会議の内容が違っても、条約締約国の会議であれば、それぞれの分野での、COP何がしかの名称がつくのです。

現在、名古屋で開かれているCOP10とは、「生物多様性条約第10回締約国会議」のことです。1992年締結された条約、即ち、①生態系の保全、②持続可能な利用、そして、③遺伝資源の利益配分について2020年までの目標を採択するかが焦点となっております。

概ね、2年に一回、開催されているものです。

一方、COP16とは、地球温暖化対策の新たな枠組み作りに向けた「国連気候変動枠組条約第16回締約国会議」のことです。

COP16は、今年の11～12月に掛けて、メキシコのカンクンで開かれます。こちらは、年一回の開催です。

このCOP16では、京都議定書（※）以後の米国と新興国も含めた主要国が排出削減に参加する新しい枠組み作りを目指します。

(※) 1997年12月に開催されたCOP3で採決された二酸化炭素(CO2)など6種類の温室ガスについて、2010年までの排出削減義務等を定めた議定書のこと。

難しい話は、別の機会に譲るとして、もし、このまま対策が打たれない場合、気象災害によって、今後、どのような被害が予想されるか、国連開発計画(UNDP)によれば、

- ①、干ばつや気温の上昇により、新たに最大6億人が栄養失調になる。
- ②、氷河の後退や降雨パターンの変化で、80年までに更に18億人が水資源の不足により「ストレス」にさらされる。
- ③、洪水や台風の影響により、沿岸部や低平地で最大3億3千万人が避難を強いられる。
- ④、最大4億人が新たにマラリアの危機に直面する。

として、

- ①、温室ガスの削減による温暖化の緩和。
- ②、変化した気候への適応の促進が欠かせない。と主張しています。

いずれにしても、温暖化対策と生物の保護対策は、お互い、深く関わりを持つことから、この二つのCOP、今年でいえば、COP10、COP16は、双子の締約国会議といわれるのです。

本日は、「思うがままに」など、取り留めのない話となりました。

ご静聴、有難う御座いました。

(新発田城南RCより) ありがとうございます。



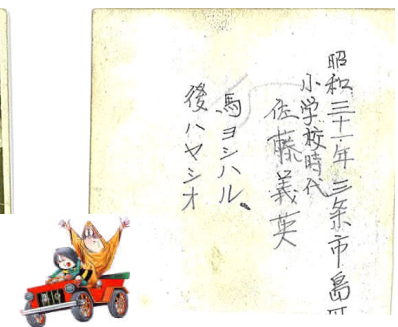
卓話ありがとうございます。



佐藤義英さん

●北口一夜の憩物語 第一話

★夜の憩物語



夜の本寺小路の話をするにも、そうそう飲みに行くわけでもないし? だいたい何か会合とかがないと出る方ではないので日頃は早寝、早起き、本当に真面目なものです!!

そこで大昔の本寺小路の夜ではなく朝の話をしたと思います。

私がまだ小学生の頃には、親父が馬車屋をしていまして、馬小屋がありました。3頭ぐらいの馬がいたとおもいます。その頃ある縁で由利の瀬高厩舎の地方競馬の競走馬を家で預かって居たことがあります。朝4時頃まだ暗い内から調教に出ます。私も馬に乗りたくて朝早く起きていまして、度々乗せて貰いました。そして当日はどこへ行くのかと思ったら今の本寺小路です。その頃はそこがどういふ所かわからなかった!!

後で思うときっと調教師が夕べ飲みに来た飲み屋の女給(今で言うホステス?)さんが忘れられなくて? とつまらぬ推測!!

今では考えられないことですが、大通りや本寺小路を馬に乗って走った(歩いた?)のは現存は私くらいかも!! もう50年の前の話です。

その当時の写真がこれです。本来なら今頃は中央競馬の騎手になって武豊(歳がちがう)、のライバルだったかも。体格も騎手向きなのですが、いかんせん朝早く起きられなくて断念しました。(本当か?)!!

夜の本寺小路の話は全くわかりませんが? 朝の本寺小路の話はこれにて!!



三條北ロータリークラブ会員企業紹介

「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業とロータリーの理想とを結び環である(ポール・ハリス)」

会員同士が会員企業の職業分類を知ることにより、会員の親睦、相互扶助、職業奉仕にこの「企業紹介コーナー」がお役に立つことができれば幸いです。



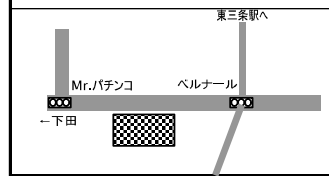
by 会報・広報・資料委員会

■会員事業所紹介 ●木宮 隆会員(プログラム)



■事業所名	株式会社キミヤ
■職種分類	農機具製造
■住 所	三條市興野3-17-17
■TEL.	0256-32-1337
■FAX.	0256-34-7003

アクセスマップ



こんな仕事をしています

■農業機械のインプレメントの製造、卸としてスタート、現在は大型農業機械の補修部品の卸として県内及び東北、関東、北陸を中心に営業を展開しています。

本社



我が社のPRポイント

■2003年10月より、中古農機をインターネットで売買するPDNS情報ネットワークサービスを開始。現在、加盟農機店600店、登録農家数11,000人、平均月間取引高1.6億円の市場規模となっています。来年サイトの完全リニューアルを実施し、新しいコンテンツとして、全国の農産物販売ネットを開設する予定です。

社屋全景(PDNSの看板)

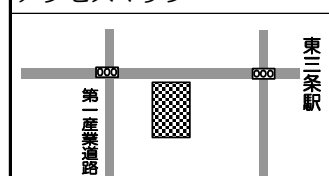


■会員事業所紹介 ●西山 斉会員(社会奉仕)



■事業所名	日の丸観光タクシー株式会社
■職種分類	タクシー業
■住 所	三條市東三條1-6-14
■TEL.	0256-32-9895
■FAX.	0256-32-6910

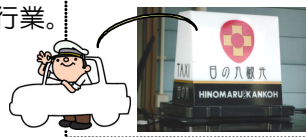
アクセスマップ



こんな仕事をしています

- ・一般乗用、貸切、乗合旅客運送事業、第二種旅行業。
- ・一般労働者派遣、有料職業紹介。
- ・訪問介護事業。

●このマークが目印



本社



我が社のPRポイント

・ご高齢、障害などをお持ちで、介護を必要とされるお客様の移動を得意とする専門部隊がいます。一般のドライバーも8割が訪問介護員2級以上です。
飲酒により移動が困難な方の介助?も喜んで行っておりますが、性質が著しく悪くなるお客様の対応は非常に苦手な会社です。

ヒメサユリ営業所

